

EDELWEISS

MAI 2023

今年の夏は...?

チューリッヒ最大のお祭り、ゼクセロイテンで6時に着火された、冬の象徴の雪だるま。完全に姿を消したのはなんと6時57分。前代未聞の長い時間がかかり、Zunftの人達は予定が圧して大変だったとか...。その後も見物客は身動きを取りにくいので、子連れの方などはヘトヘトになってご帰宅したかもしれません。その占いが当たるのならば、史上最短の夏が訪れるのでしょうか?ま、あまり当たらないそうなので、とりあえずは冬が終わった事を喜びましょう。5月は18日のキリスト昇天祭や28、29日の聖霊降臨祭でお休みが続くので、楽しみです。

去年の聖霊降臨祭にも「イエスの復活から50日目に精霊が降りて来た日で、言葉の壁が取り払われ教会活動が始まった日」というバチカンの教令をご紹介しました (EDELWEISS JUNI 2022)。右の絵は、精霊が降って来ている場面をドラマティックに視覚化していますね。ラテン語では「ペンテコステ(Pentecostes)」と呼ぶのですが、それはギリシャ語で「50番目」という意味から来ているのだそうですね。簡単に言えば「教会の誕生日」とカトリック教会のサイトに書かれていたので、とりあえずイエスの誕生日のクリスマスのように、教会の誕生日を祝えばいい日のようです。

誕生日と言えば、4月1日に150歳を祝ったセルゲイ・ラフマニノフ。彼の名前から「SE」、夫人のナタリアから「NA」を取って「Villa Senar」と呼ばれたラフマニノフの別荘は、プーチン大統領も購入を検討していたとか?結局ルツェルン州が買い取ってくれたので、ようやく一般公開されます。ルツェルン近郊のヘルテンシュタインに足を伸ばしてみたいです! (SN)



Pentecost, by Jean II Restout 1732

FROHE PFINGSTEN

チューリッヒ日本人学校運動会

昔は「秋」の季語だった運動会も、5月に行う学校が増えていますね。チューリッヒ日本人学校では、ずっと初夏開催でしたが、今年も5月27日に予定されています。一部の種目には一般参加もできるそうです。詳しくは同封のチラシをご覧ください。以前、保護者が競技中に肉離れを起こして救急車で運ばれた事もありましたので、当日までに体を慣らしておいて下さいね!



Villa Senar, Südfassade gemäss historischem Foto, 2023. © Denkmalpflege Luzern/Kanton Luzern/Priska Ketterer

▼ 巻頭文

「プラトン哲学より学ぶ国家の独立とは?」 青砥 玄 (会長)

▼ 私のイチオシ、シェアします! Vol.34

Ernährung für nächste Generation 竹下 数雄

▼ スイスの金融市場 Vol.2

「小さな金融大国 (2) プライベートバンク」長田 忠雄

▼ 美のプリズム Vol.18

「美術作品と画家の人生」柿沼 万里江

▼ Kette(会員の輪) Vol.167

阪野 真司さん (ベルン在住)

JCZ賛助団体
(アルファベット順)

Kowa Holdings / Pharmaceutical Europe AG Kuoni Global Travel Services (Schweiz) AG / JTB Corp.
NIPPON EXPRESS (SCHWEIZ) AG Nishi Japan Shop / Japan Restaurant Bimi & Saku TOYOTA AG

巻頭文 「プラトン哲学より学ぶ国家の独立とは？」 青砥 玄(会長)

前回の巻頭文でご紹介した、ワシントン在住の国際政治アナリストの伊藤賢氏は、ユーチューブ番組「真剣な雑談」の中で、欧米文明の源流であるギリシャ哲学の中にこそ、現代文明が見失ってしまった極めて大切なものがあつたと指摘されています。日本再興を目指す為に示唆に富んだ内容ですので、ご紹介します。

ギリシャ哲学の世界

ソクラテスは変わった性格で、議論にはめっぽう強くて茶目っ気がある人だったのですが、本は一冊も書かず、弟子のプラトンがソクラテス先生の語ったことを対話集として後世に残しました。伊藤氏がこの二人を高く評価する理由は、二つのM (Meaning of Life, Mission of Life) というレベルの高い内容を解り易い言葉で、正直かつ的確に語ってくれているからだそうです。彼らは極めて道徳的であり強い責任感があり勇気がある人達だったと、伊藤氏は評しています。

プラトンは「目の前の現実だけが現実ではない。人間にはより根源的な現実がある」と説明しています。カントも同じような概念を、フェノメノンPhenomenonとヌーメノンNoumenonと表現しました。

プラトンもカントも、目の前の現実(ニュースで見る内容など)は、吹けば飛ばすような現実でしかない。それはいくらでも変化する。しかしながら、永遠性と普遍性を持つものは必ず存在するのだと主張しました。プラトンはそれをイデア、フォーム(抽象的・論理的世界がある)と表現しました。それを根拠として二人とも神の存在を認めていました。神というと普通は宗教だと思えますが、ところがプラトンもカントも特定の信仰は持っておらず、彼らは宗教的な神には賛成していないのです。しかし哲学的に考え抜いてみると、目の前の現実を超えた所にもっと深い根源的な現実があつて、人間の価値判断能力はそこから来ているはずであると考えました。そこに神聖なる価値規範、究極の真善美の価値というものも存在するのだと。この二人は非宗教的な意味で神の存在を肯定していたわけです。それはソクラテスも、アリストテレスもまたデカルトやスピノザも同様です。

20世紀初頭の有名な数学者・哲学者のホワイトヘッド、物理学者のアインシュタインや自然科学者のデカルトも、学者の立場から非宗教的な意味で神の存在を肯定し、我々人間はそれを目指して生きてゆくべきだと主張しました。

プラトンの国家思想

プラトンは崇高性(神のような)の存在を認めたくて、人間はそれを目指さなければいけないのだと言います。しかしながら

人間は、3つの欲望・欲求によって突き動かされています。まず最も高いレベルでの欲望・欲求は、知性や知恵、理性を欲するもの。2つ目が名誉とか勝利、そして人間のプライドを重んじる欲求。3つ目の欲求がお金、食欲、性欲などで、贅沢をしたいとか見せびらかしたいといった生物的・動物的欲求です。その中で知性や知恵や理性に対する欲求が一番好ましいものであり、それを求める人のことをプラトンは「哲人タイプPhilosopher type」と呼びました。悟りを追求するタイプです。2番目の人たちを「軍人タイプ」「戦士」と呼び、3つ目を求める人たちを「商人タイプ」「快楽主義者タイプ」と呼びました。この3つの生き方のどれを重んじるかによって政治体制が変わってくると、プラトンの「国家」という本に書かれています。最初のタイプを哲人統治、2番目を名誉体制とか、武人統治と呼びました。江戸時代の武士の世界です。3番目のお金儲けを求める体制を富裕者統治、プラトンはこれを金持ち統治、寡占体制と呼んだりします。要するに金儲けをする人たちが一番威張っている社会です。さらに、プラトンによると4つ目が民主主体制なのです。それは一人一人の欲求には何らの上下もない、全ての人の欲求はすべて平等に扱われるべきである。人間の嗜好とか、お金や余暇の使い方上下貴賤はないという考えです。例えばどんなに品のない映画とかドラマや俳優であっても、それが大衆に受けているならば良いのだというもの。数は力なりですね。5番目は独裁政治、専制政治です。プラトンはこの5つの政治体制を「国家」の中で議論し、哲人統治以外は必ず墮落してゆくと言っているのです。特に民主主義をやっていると、人々はその場の思い付きや要求だけを優先することになります。民主的な政治家は次の選挙に勝たなくてはいけないので、民衆の一番好むことをやりたがる、ポピュリストとなりがちです。民衆の要求はどんどん変わってゆきますから、要するに人気取りをする人が影響力を持つようになるのです。プラトンはくそ真面目な人でしたから、そんな人に国家を任せていたら国家が衰退してしまうと警告しているのです。民主政治体制では本当に指導能力を持った人は政治家になりたがりません。現代のアメリカにも人格に優れていて指導能力のある人はいるのですが、政治家を志さないのです。だから民主主義は失敗するのだとプラトンは言っています。

ソクラテスもプラトンも述べる重要なポイントは、人間と国家にとって最も大切なのは、質の高い価値規範を維持すること。徳のある人生を生きること。もしくは徳のある国家を作ること。これが政治の目的であるということです。ゆえに彼らははつき

り言います。経済規模とか人口規模、領土などはどうでもよい。国家の人口が5万でも5千万でも、そんなのは国家の偉大さとは全く関係がない。小さな国でもその国民が徳の高い生活をしていれば、そういった国の方がはるかに偉大である。二人によれば、国家の最終的目的地は質の高い価値規範を維持することであり、国民が徳のある生活を送ることの方が国家としてより価値があると考えたわけです。さらにソクラテスが言うには、そういう国は独立を守らなければならない。なぜならば周りの価値判断力の低い国や、徳のない国に蹂躪されてしまう恐れがあるからです。ソクラテスはプラトンの著作の中で、他の国に従属するくらいなら国民は戦って死んだ方がましだとすら表明しています。国家にとって最も大切なことは、独立した価値判断能力を持って、徳のある質の高い生活をするることである。その為には戦うのを恐れてはならないというのです。二人とも目に見えない価値を重視した人たちだったのです。

国家の独立とは？

日本は78年前に戦争に負けたからと米軍をいまだに進駐させておいて、自主防衛をしようという気持ちは一切ない状況です。周辺国が核ミサイルを増強させてもアメリカに従属していれば何とかなるだろうと楽観視しています。哲学的にも国家としての軸をしっかりと持っておらず、パラダイムレベルの判断があつたかどうかとも怪しいところ。結果的に目先の利益だけを考えてアメリカに従属し続けてきました。極めて嘆かわしい限りです。

日本の政治家は戦後、重光葵と石橋湛山を除いて米軍を追い出して自主独立しようとはしなかったし、アメリカの従属国家で甘んじていました。戦後の日本はまさにソクラテスとプラトンが描いた国家の在り方とは真逆な道を選んできたわけです。

先回ご紹介した、駐日フランス大使(1921-27)ポール・クローデル(1868-1955)は、日本の敗戦の色が濃くなってきた1943年にこういう言葉を残しています。「世界でどうしても滅んでほしくない民族がある。それは日本民族である。その理由は、日本は太古の昔から文明を積み重ねてきたから、明治維新後、急速に欧米文化を輸入しても発展することが出来た。日本人は貧しい、しかし高貴である」と結んでいます。

クローデル氏を感動させた100年前の日本の姿には、ソクラテス、プラトンが理想と語っていた国家に通じるものがあつたと私は思いました。皆様はどう思われますでしょうか？

◆ご意見・ご質問は青砥まで。Gen.Aoto@toyota.ch

去年の、8月27日、私がコンサートを
行っているZunftHaus zur Waagの横の素
敵なギャラリーGalerie Adrienne
Desbiollesで、Wegmann菜摘女さん主催
の、栄養&食育をテーマにしたイベントに
参加しました。

菜摘女さんは、スイスで栄養士の資格
をとり、2020年から自分のPraxisを設立
し、栄養カウンセリングや、カロリー計
算されたランチボックス、ビーガン、ベジ
タリアンなどのお寿司を配達サービスと
一緒に提供したり、健康食のお料理教室
を開催したり、積極的に健康な生活の大
切さを掲げお仕事されています。カウンセ
リングに来られるのは97%女性というこ
とですが、カウンセリングとランチボッ
クスのサービスを並行して利用するお客様
も多いということです。

冒頭のイベントは、若い世代をサポート
しようと、特にダンサーの子たちの食生
活、間違ったダイエットを専門家の立場か
ら正していきたいと、プロのバレリーナや
音楽家と共に開催していて、私は、本当
にえらいなぁと思いました。

特に、よく、これだけのTOPクラスの
アーティストを集めたなぁと感心してしま
いました。

第1部の初め
に、菜摘女さん
が一人で、栄養
について、また、日本の食育
の文化をここ
チューリッヒに
も導入していきたいという願いをドイツ語
でお話してくれました。彼女が登場した際
は、Stradivari Quartettの方々が《桜》
を弾いて、とっても綺麗でした。



STADT, BERG ODER INSEL?
私のイチオシ、シェアします!

ERNÄHRUNG FÜR NÄCHSTE GENERATION 2023 竹下 数雄

バレリーナのMichelle Willemsは、
Ballett ZürichのSolistinで、《くるみ割り
人形》、《眠れる森の美女》などで、いつも
主演を演じている人気バレリーナです。
彼女の生い立ちや、ロシアのポリショイ・
バレエ・アカデミーにいた時の食生活の
エピソードは、とても興味深かったです。
この時は、英語の会話方式で進んでいき
ました。Michelleが登場した際は、
Sleeping beautyが弾かれて、本当に素晴
らしい生演奏でした。

第2部にも演奏したStradivari
Quartettの第一ヴァイオリニスト
Xaoming Wangは、フィルハーモニア・
チューリッヒ(チューリッヒ歌劇場管弦
楽団から改名)のTOPマエストロヴァイ
オリニストで、とにかく演奏がすべて素
晴らしかった。菜摘女さんのリクエスト
ということで、最後には、日本の《ふるさ
と》を弾いてくれたので、思わず、前
に出て歌いたくなりりましたが、ぐっこ
らえました(笑)。

そして、お待ちかねのアペロは、美味
さんのおいしいお寿司。お土産の

Guddie Taschelは、Yumi Hanaさんか
らのフェイスパックで、菜摘女さんのお仕
事を応援する方々と一緒に作られた素晴ら
しいイベントなんだと思います。参加者
の中には、チューリッヒのセブもいたり
しました。そりゃ、いるでしょうね(笑)

私個人的には、「若い世代の子たちは、
自分でなんとかできるのでは?」と思っ
てしまうので、詳細は正直よく聞いてい
ませんでした(笑)。でも、年々、歳を重ね
てきている自分としては、自分で栄養に
気を付けながら食事を作る方が大変なので、
将来的には、菜摘女さんのランチボッ
クスを活用していきたいなぁと思いました。
菜摘女さんのおにぎりなどもYumi Hana
さんで購入できるので、ジャンクフードを
食べるんだったら、コンビニ感覚で買え
るこちらのキヌアやアマランスなどが
入った健康おにぎりをお勧めします。と
ても、美味しいです。

今年も、6月10日の土曜日17時半か
ら、同じ会場でイベントが開催されます。
更に新しいキャストとして、Ballett
Zürichの元プリンシパルダンサーFilipe
Portugalも加わります。

100名までと、席に限りがあります
ので、4月上旬のお申し込み開始後、
皆さん、
お早め
にご予
約くだ
さい。
私も行
く予定
です。



NEX NIPPON EXPRESS

募集中!

事務職スタッフ 50~60%

引越課では、やる気のある方を募集します。

- ・ スイス労働許可保持者 ・ 事務経験のある方
- ・ 日本語が母国語で英語・ドイツ語堪能な方
- ・ フレキシブルな時間対応が出来る方(月曜~金曜のみ)
- ・ 勤務地: 8303 Bassersdorf

▶ 履歴書(英語と日本語)を
下記メールアドレスにお送りください。
nech-zrh.rmv@nipponexpress.com



NIPPON EXPRESS (SWITZERLAND) LTD.
NXスイス株式会社 www.nipponexpress.ch
引越・日本語URL www.nipponexpress.com/
moving/ch/from/



GlobAS Relocations Europe GmbH

チューリッヒからのお引越はグローバス・リロー
ケーションにお任せを! 日本向け、スイス国内及び、スイ
スから欧州へのお引越、譲渡/転売品の輸送、処分品廃
棄等も承っております。お問い合わせの際EDELWEISS
を見たとお伝えいただければ空港宅配無料クーポン、
JAL・ANAマイルプレゼントのご用意等ございます。
詳しくはメールにてお問い合わせ下さい!

Email: zurich@globas-relo.com

HP: http://www.globas-relo.com

Tel: +49(0)89-189-386-21 (日本語直通) 担当:三嶋



スイスの 金融市場

Vol.2
小さな金融大国(2)
長田 忠雄

プライベートバンク

ジュネーブやチューリッヒを中心
に大小様々なプライベートバン
クがひしめき合っており、中には
200年以上の歴史を誇る老舗も多
く、今も存在感を示しています。
このスイス金融界に激震が走った
のが2008年、リーマンショック
に見舞われた年です。この金融経
済の大混乱期にスイスの秘密口座
による米国人富裕層の脱税問題が
クローズアップされ、スイスの法律で守られていた守秘義務が外交
圧力の前に屈したという大きな事件が起こりました。

顧客の資産保全・守秘義務を売り物に、世界中から巨額のお金
を引きつけてきたスイスですが、脱税の隠れ蓑にスイスの秘密口
座が使われてきたとする疑念が、様々な場面で語られてきました。
UBSによる米顧客の脱税助発覚事件をきっかけに、目の上
のタンコブだったスイスの秘密口座問題がついにG20の度重なる
討議で外交問題に発展、国際社会の圧力に屈する形で、スイスは
脱税等による守秘義務を放棄せざるを得ない結果になったので
す。OECD加盟国は税当局間での情報交換に合意、スイス当局は
税逃れと思われる口座の情報開示に応じることになりました。

米当局から標的にされたUBSの米国籍口座が米当局に開示され
る形で一件落着となりましたが、この事件をきっかけにFINMA
(スイス金融市場監督機構)による銀行口座の大掃除が実施さ
れ、外国籍の口座に関しては改めて当該国での納税証明書を提
示しなければ口座は閉鎖するなどの厳しい措置が施行されまし
た。この結果、クリーンなお金でなければ受け付けない、とい
う徹底した当局による指導が奏功し、何とか外交圧力をかわす
ことができました。日本の税当局もこの事件をきっかけに、国
外財産申告制度を導入、一定金額を超える金融資産を海外に保
有する場合は毎年税務署に申告することで税逃れの追及を強め
るようになりました。

何事にも頑固なスイス人ですが、これほどまでに大きな外交問
題に発展しては、やはり世の中の流れに抗しきれなかったわけ
です。しかしながら一旦決めたら徹底して取り組むマジメな国民性
もあって、秘密口座の一扫に取り組みました。とは言いながら、
そこはしたたかなスイス人で、タックスヘイブン(租税回避地)と
してのステイタスはしっかり維持しています。

各国税制の準拠法(Governing Law)は、英米(アングロサク
ソン)法であるCommon Lawと、欧州大陸各国の準拠法である
Civil Lawの二つに分かれます。英米法では英領ケイマン諸島や
英領バージン諸島などのタックスヘイブン(租税回避地)に口座
を開設することは合法ですが、大陸法であるCivil Lawでは非合
法になります。スイスは大陸ですからCivil Lawが準拠法になっ
ているため、租税回避地に口座開設することは非合法になってし
まいます。これでは世界のお金を引き付けるのに支障をきたすた
め背に腹は変えられず、例外的にタックスヘイブンでの口座開設
を合法扱いにしています。租税回避地にオフショアトラスト(海
外信託)を設立することで、トラスティ(信託の管理責任者)が
資金管理を行い、実質的な資金の所有者が表に出ることなく合法
的に租税回避を行っているのです。しかしながら折に触れて、政
治家や実業家がタックスヘイブンに口座を所有していると言っ
た噂話が表沙汰になるように、法的には合法でも倫理的にはど
うなのか、という問題は依然残っています。

余談ですが、ロシアによるウクライナ侵攻を受けてスイスもEU
によるロシアへの制裁に参加、オリガルヒの資産凍結を発表し、
政治的には中立であるスイスがよくやったと喝采を浴びました。
しかし本年3月9日付けのフィナンシャルタイムズ紙によると、
凍結された金額はスイスにある全体のロシアマネー(461億スイ
スフラン=約6.7兆円)のうち75億スイスフラン(約11兆円)、つ
まり約15%に過ぎないとのことで、資産凍結の中身はあくまで
プーチンに近いオリガルヒの資産に限っている模様、と伝えてい
ます。また今やスイスでは最大のチャイナマネーが、米中摩擦
が更に悪化した暁には米による中国制裁を嫌気してスイスから
逃げ出すのではないかと、という観測記事も掲載しています。世
界で最大のオフショアマネーの集積地であるスイスとしては、
今後は一層地政学リスクの波に揺れることになりそうです。

BULLETIN BOARD

【海外子育て・発達サポート】 YouTubeチャンネル開設のご案内

海外在住の邦人支援で無料発達相談を行って
おります。YouTube動画の配信スタート!
HP: <https://1437277.site123.m>
クリスタル・チルドレン 佐々木恭子



ベートーベンのチェロとピアノの 全作品演奏会

日時: 第1回目 5月14日(日)17時
チェロソナタ2、3番、ユダ・マカベウ
スの主題による変奏曲 ト長調

ジュリアン・キルヒエンマン (チェロ)
大橋雅子 (ピアノ)
入場無料、コレクテ、アペロ有
場所: Schneckenmannstrasse 8, 8044
Zürich bei Herrn Richard Irniger
申し込み: dklmce0511@gmail.com 大橋
(4月号の伝言板には曜日が間違っておりました。
謹んでお詫び申し上げます。編集部)

"Musique et Vin" 音楽とワイン

シュベルトと、中世の街並みが残るリ
ゲーツでワイン農家Cordula Morgeneegg-
Poschと共に。松村茜 (ピアノ)
日時: 5月28日(日) 16:30

場所: Aarbergerhus Ligerz
詳しくは: akanematsumura.com 松村

《Quatuor Poème》マチネコンサート

日時: 5月28日(日) 11時
入場無料、コレクテ
場所: Zunfthaus zur Waag,
Münsterhof 8, Zürich
Pf. 辻文佳 Vl. 石川友子
Va. 神谷末夏 Vc. 横田誠治
ベートーヴェン、香月修 Poem III
(2006)、メンデルスゾーン 第3番
予約先: quatuorpoeme@gmail.com
横田誠治

チューリッヒ発 JAL経由便ご利用の方向けキャンペーン実施中!

【対象期間/～6月30日 JALご搭乗分まで*】

パリ・ロンドン・フランクフルト・ヘルシンキ経由が可能です。



空港宅配・手ぶらサービス無料

ABC空港宅配サービス(羽田・成田空港)を無
料でご提供。ご出発日10営業日前(除 土日)ま
でに要お申し込み。
※対象期間:4月28日～5月7日を除く。

羽田・成田ラウンジご利用

日本からお戻りの際、出発空港(羽田・成田)に
てラウンジご利用が可能。ご出発日7営業日前
(除 土日)までに要お申し込み。
※対象期間:4月28日～5月7日を除く。

ヘルシンキ線乗り継ぎラウンジ利用

羽田からヘルシンキ線(JL047便)をご利用で
チューリッヒへの乗り継ぎ便をご利用の場合、ヘル
シンキ空港のAspireラウンジを無料でご利用
可能。JL047便ご搭乗前までに要お申し込み。



詳細・お申し込みは
こちらから

詳細・ご予約は www.jal.co.jp/ch/ JALヨーロッパ予約センター 0844-888-777 (スイス国内・日本語専用ライン)



JCZ名誉会長及び駐スイス日本国大使からのご挨拶



当会名誉会長の藤山大使は新年会にご出席賜りましたが、今回当誌にもご挨拶文をお寄せ下さいました。

駐スイス日本国大使として昨年11月末に着任しました藤山美典(ふじやま よしのり)です。今年1月に開催された新年会に家内ともどもお招き頂き誠にありがとうございました。チューリッヒ日本人会が、会員相互間の親睦を深めつつ、活発に活動されているご様子を直接拝見する素晴らしい機会となりました。引き続き、当館

としてもできる限り協力をさせて頂きたいと考えております。

今回、チューリッヒ日本人会の会報誌に挨拶文を掲載してはどうかというご案内を頂きましたことに心から感謝申し上げます。新年会において申し上げたことと重複する部分も多々ございますが、ご容赦のほどよろしくお願い申し上げます。

1984年に外務省に入省して以来、在外では、ドイツ、米国、韓国、ウズベキスタンに勤務して参りました。今回、スイスという、美しい自然に恵まれ、経済水準も高く、国際社会で独自の存在感を発揮している国に赴任できたことを大変うれしく思っております。

スイスと日本は、歴史的に良好な関係を築いてきております。昨年4月には、カシス連邦大統領(当時)兼外務大臣が訪日し首脳会談を行いましたし、今年の1月にはニューヨークで日・スイス外相会談が実現するなど、ハイレベ

ルで外交活動が行われています。今年と来年は両国が国連安全保障理事会の非常任理事国として、ともに国際社会の諸懸案の解決に向けた役割を果たしていく年です。ロシアによるウクライナ侵攻により、法の支配に基づく国際秩序が重大な挑戦にさらされている現在、価値観を共有する国どうしの連携がますます重要となっております。そのためにも、日本とスイスの外交関係の強化に向けしっかりと努力していきたいと思っております。

来年は日本とスイスが国交を樹立して160周年を迎える節目の年です。また、その翌年の2025年は大阪・関西万博が開催され、スイスもイノベーションをテーマとする独自のパビリオンを建設することを予定しています。そのような流れの中で、できるだけ多くのスイスの方々に日本の素晴らしさを体験して頂き、相互交流を深めていけるよう、広報文化センターや各種イベントを引き続き積極的に活用していきたいと考えています。

当館の最も重要な任務は、当地にお住まいの日本人の皆様方へ

の各種サービスのご提供です。領事サービスはその中の重要な柱です。当館はチューリッヒ州から遠方にあるため、皆様方にはご不便をおかけしております。今年度も日本人学校様のご協力をも得ながら、四半期に1回程度、領事出張サービスを行う予定です。また、パスポートのオンライン申請や在外選挙人登録手続きの改善など、皆様に寄り添える領事サービスを目指して努力を続けたいと思っております。

また、ビジネス面においても当地に進出しておられる企業の皆様にとって身近な相談窓口となるよう、商工会をはじめとした関係者の皆様との意見交換を行いながら、当地の日本企業をご支援させていただきたいと考えています。ビジネス展開、輸出入規制等、当地におけるビジネス関係のご相談がございましたら、当館経済班までお気軽にご連絡ください。チューリッヒ日本人会の益々のご発展を心より祈念しております。

2023年4月
駐スイス日本国大使 藤山 美典



第6回GINMAKU日本映画祭、いよいよ今月開催！
Japanese Film Festival
May 25 - 29, 2023
Cinema Houdini & Riffraff Zurich

コロナの影響により3年間中止を余儀なくされていたGINMAKU日本映画祭が、いよいよ今月開催されます！映画祭の代表を務める当会会員の松原美津紀さんに苦労話を語って頂きました。

「今年は例年より大きな映画館『Kosmos』での開催が予定されていましたが、昨年の冬に同映画館が突然の自己破産。その後、公的機関による日本映画上映助成事業が廃止というさらなる追い討ちに、映画祭再開が危機的状況となりましたが、これまでGINMAKUと共に開催してきたチューリッヒの映画館『Houdini』と『Riffraff』が再びパートナーとなり、ようやく再開が決定しました。」

初日のオープニングと最終日のクロージング作品は映画館『Riffraff』で、それ以外の作品は例年同様映画館『Houdini』にて開催されるそうです。不死鳥のように、何度も立ち上がって開催に漕ぎ着けた当映画祭、上映作品は全て日本映画で、数多くの作品の中から選び抜かれたドキュメンタリーやフィクションが母国語で楽しめます。英語やドイツ語の字幕も付きます。前売りチケットは今月初旬より映画館のHP、窓口にて販売開始されます。それでは皆さん、会場でお会いしましょう！

日程: 5月25日(木)~29日(月)

場所: Kino Houdini www.kinohoudini.ch
Badenerstrasse 173, 8003 Zürich
044 455 50 30
最寄駅 Kalkbreite駅、またはWiedikon駅

RIFFRAFF KINO www.riffraff.ch
Neugasse 57-63 8005 Zürich
044 444 22 00
最寄バス停 Röntgenstrasse、またはLimmatplatz駅

GINMAKU Japanese Film Festivalに関する最新情報は、各種QRコードをお読み取りください。



懐かしい日本のバザー

ベルン日本人会恒例のバザー in Worbが3年ぶりに帰ってきます！

日本の食べ物や和風小物、親子で楽しめる緑日遊びの他、ジュネーブの日本食材店UCHITOMIの販売もご紹介します。

皆さんご家族お揃い、また知人友人とお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

主催: ベルン日本人会



浴衣や着物で来場された方にはドリンク巻1枚サービス！

Have a go! 日本映画『PLAN 75』が5月4日からチューリッヒ近郊ではArthouse Uto Zürich、Cameo Winterthurで上映されます。



倍賞千恵子主演、第75回カンヌ国際映画祭オフィシャルセレクション「ある視点」部門に正式出品され、早川千絵監督は「カメラドール特別表彰」を受賞しました。GINMAKU日本映画祭とも協働しているということで、「日本映画の5月」になりそうです！

美
の
プ
リ
ズ
ム

Vol.20

美術作品と画家の人生

4月の初め、レンバッハハウス美術館で開催中の「Kunst und Leben (芸術と人生) 1918-1955」展を見に行くために、そしてこの展覧会を企画したProvenienzforschung (コレクションの成立と作品の来歴の研究) チームに会うために、ミュンヘンに向かった。1918年は、バイエルン王国の首都ミュンヘンで革命が起き、帝政が崩壊した年を表し、1955年は、戦後西ドイツの復興を象徴する現代美術展「カッセル・ドクメンタ」が創設された年である。つまり、帝政崩壊、ワイマール共和国、ナチス、第二次世界大戦、東西分裂、ドイツ連邦共和国という国家危急存亡の時代を生きて

きた画家たちの人生に焦点を当てたコレクション展である。レンバッハハウスのコレクションの歴史、展示の歴史も同時に見せることで、芸術都市でもありヒトラーの都市でもあるミュンヘンの光と影が浮き彫りにされる。

1933年1月、ナチスが政権を掌握した後、モダン美術の芸術家たちは弾圧され、公的な職から一方的に解雇された。ナチスの芸術政策にとって「前衛芸術」は、人種的に「正統ではないもの」、道徳的に「墮落したもの」と分類されたからである。さらに追い打ちをかけるように、ドイツ国内でモダン美術の作品取引が禁止され、そして「退廃芸術家」という烙印を押された後は、ドイツの公的な美術館にあった作品がナチスに押収され、多くは破壊されてしまった。その中には多くの女性画家も含まれていたのだが、彼女たちは歴史の片隅に追いやられ忘れ去られてしまった。そうした二重の意味で追いやられた女性画家たちの作品が多く取り上げられているのが本展の特徴である。例えば、新即物主義を代表する



ケーテ・ホッフ《自画像》
1929年 レンバッハハウス

ケーテ・ホッフという画家を私は初めて知った。ナチス突撃隊が彼女の自宅とアトリエを襲撃し、作品のほとんどが破壊された。本人もその直後に亡くなったため、彼女の存在は全く忘れ去られてしまった。こうした女性画家たちに加え、「内的亡命」をして表舞台から引込んだ画家や、あるいはナチスを支持した画家など、いわば歴史に埋没した彼女ら彼らの一筋縄ではない生き方が解説パネルで詳細に紹介され、それが展示の眼目となる。ひとりひとりにどのような状況が降りかかり、それに對し、画家たちが個としてどのような対応を決断したかがテーマとなるため、作品のテーマや出来事のクロノロジーに沿った通常の展示方法ではなく、画家の苗字のアルファベット順に展示構成されている。彼女ら彼らは一方で、ナチス体制に反抗し、迫害され、誹謗中傷を受け、またユダヤ人画家であれば強制収容所に連行され殺害された「犠牲者」であった。他方で、体制に適應し、その益に浴したナチスの「同伴者」でもあった。この時代の大半のドイツ国民と同じように、画家たちは必ずしも白か黒、善か悪、被害者か加害者にきっぱりと線引きされるわけでもなく、生き延びるための策としてグレー・ゾーンで暗躍する者もいた。本展では、それぞれの画家の伝記と作品とを対峙させながら、白から黒へのグラデーションをそのままに呈示することで、描くこと＝生きていくことの重さを私たちに問いかける。元来は異なるふたつの次元、すなわち事実と虚構、伝記と作品を直接的に並置するこの展示手法は、時には奇妙に見えるかもしれないが、人間にそなわる業の深さという複雑さを赤裸々に映し出しており、「多様性」という価値を掲げる現代でこそ理解されるべきである。議論を自然と促す秀逸な展示と言える。

例えば、女性画家の中で比較的に有名なガブリエレ・ミュンターの人生も複雑である。彼女は長いことワシリー・カンディンスキーの内縁のパートナーとして取り上げられ、画家としての彼女のキャリアは戦後になるまで十分に評価されてこなかった。カンディンスキーとフランツ・マルクが創設した「青騎士」グループのメンバーとしてミュンターは活躍し、素晴らしい作品を数多く残したにもかかわらず、1933年以前、ドイツの公的な美術館に彼女の作品は収蔵されていなかった。1937年から1938年にかけて、ナチスは「退廃芸術」展を組織だてて企画しドイツ国内を巡回させた。2万点以上の作品を美術館から押収し、モダン美術を吊し上げ見せ物にした。この「退廃芸術」展に青騎士のメンバーの中で唯一展示されなかったのはミュンターの作品である。上述したように、公的な美術館に所蔵されていなかったため、彼女の作品はナチスから没収されようがなかったのである。ムルナウの彼女の家に家宅捜索が入ることもなく、つまり、当局からマークされることもなく、夥しい数の作品(自作だけではなく、青騎士メンバーの作品も)を戦後まで隠し通せたのであった。



ガブリエレ・ミュンター
《青い掘削機(ガルミッシュへ向かうオリンピック通りの工事現場)》
1935/1937年 レンバッハハウス

さて、「退廃芸術」展が開催される前年の1936年、ヒトラーの支持者で画商のエルナ・ハンフシュテングルの発案で、ミュンターの作品が2点「美術におけるアドルフ・ヒトラーの通り」展に出品された。そのうちの1点が1935/1937年に制作された《青い掘削機(ガルミッシュへ向かうオリンピック通りの工事現場)》である。1936年8月にベルリンで開催された夏のオリンピック(記録映画「オリンピア」で有名)に先駆け、同年2月にバイエルン州のガルミッシュ・パルテンキルヘンで行われた冬のオリンピックもまた、ヒトラーによるプロパガンダ・オリンピックであった。ミュンターは決してヒトラーの人種差別主義を支持していたわけではないが、国家単位の大規模な工事に魅せられていたためである。しかも、青騎士のシンボルである「青」の掘削機を中心モチーフに据えているあたり、何か意味があるのではないかと勘ぐってしまう。ヒトラーはドイツ全体を覆う高速道路を計画し、インフラを整備していった。この高速道路工事への支持を高め、美術作品の主題としても普及させるべく、「美術におけるアドルフ・ヒトラーの通り」展が企画されたのだ。では、はたしてミュンターは国の威信をかけた工事現場を描くことで、ナチスに加担したといえるのだろうか。あるいは、オリンピックに向かって道を切り拓くという「夢のある」行為に単に感嘆しただけだったのか。ヒトラーの名を掲げた展覧会に出品することに抵抗はなかったのか、それとも、名誉とも思ったのか。そこにどんな理由があったにせよ

「美術におけるアドルフ・ヒトラーの通り」展に出品したという事実だけは現存する。戦後、ミュンターの作品はようやく美術館に収蔵されるようになる。西ドイツを代表する展覧会、例えば1950年のヴェネツィア・ビエンナーレや1955年のカッセル・ドクメンタにも選ばれた。1957年、ミュンターは戦争中守り抜いてきた彼女のコレクションの大半をレンバッハハウスに寄贈した。これが、レンバッハハウスを青騎士コレクションの聖地として世界的に有名にしたのである。

レンバッハハウスが位置するのは、美術館が集中するいわゆる文化芸術地域である。オデオン広場から美術館に向かうブリエナー通りは今まで何度も通ってきたはずなのに、この通りにナチスの党本部があったことも(現在ではナチス・ドキュメント・センターになっている)、「ナチスの犠牲者のための広場」が設けられたことも、そして当時有名なユダヤ人の画廊があったことにも、私は無自覚なまま通り過ぎていた。

柿沼 万里江 (パウル・クレー・センター研究員)

Zentrum Paul Klee, Monument im Fruchtländ 3, 3000 Bern

JCZ事務局からのお知らせ

5月のアフタヌーンカフェ

夏に向かって気持ちのいい季節となりました。忙しい日常の合間に一息入れませんか。Jelmoliのカフェでお待ちしております。どなたでもどうぞ。

日時：5月11日(木)
14:00 ~ 16:00

場所：Jelmoli 3 F レストラン
申込：JCZ ホームページのイベント申込フォームより、またはメールにてお申し込みください。kikaku@japanswiss.ch

日常ドイツ語サポートサービス

日頃ドイツ語が分からなくて困っていることはありませんか?JCZではそういった方々のサポートを行なっています。ご利用になりたい方は、いつでもメールでご相談ください。

申込先：JCZ事務局
メール：jcz@japanswiss.ch
サポートの内容にもよりますが、10フラン程度を寄付という形でお願ひしています。

HP広告掲載の募集

ご好評頂いているJCZのHPに広告を掲載していただけます。イベントの告知や企業の宣伝にいかがでしょうか。詳細はHPをご覧ください。
www.japanswiss.ch

チューリッヒ近郊お出かけ情報



国立博物館125周年記念

5月5日~毎金曜11:30~、毎日曜13:30~
www.landesmuseum.ch

第7回ストリートフードデー

5月5日17:00~、6日11:30~
Lindenhof Bülach
Lindenhofstrasse 8180 Bülach
www.streetfooddays.ch

サーカスKNIE

5月6日~6月4日
Sechseläutenplatz 8001 Zürich
www.knie.ch/circus

インターナショナル・ミュージアム・デー

5月21日 Historisches Museum Baden、
Stadtmuseum Rapperswil-Jona、Museum
Langmatt、Museum Burg Zug、
Klosterhalbinsel Wettingen、Kunsthau
Zug等で入場無料イベント開催

ドイツワイン無料試飲会

5月24~25日 15:00~19:30
Boucherville Weinladen
Kinkelstrasse 40 8006 Zürich
www.boucherville.ch/de/event/fruehlingsdegustation-deutschland

チューリッヒ歌劇場

【オペラ】

【おすすめ!】
今月のおすすめ!
グノー作曲《ロメオとジュリエット》
5月4・7・13・18日

- ・モーツァルト作曲《魔笛》
5月5・12・17日
- ・ヘンデル作曲《セルセ》
5月6日初演、10・12・14・17日
- ・グルック作曲《オルフェーとエウリディース》
再演 5月7・11・14・19・23日
- ・プリテン作曲《愛と暴力のレッスン》
5月21日初演、25・27日

【バレエ】

- ・「チェリスト」5月6・18・20日
- ・「モンテヴェルディ」5月26・29・31日

【コンサート】

- ・ピアノ四重奏曲コンサートII 5月14・15日
- ・アレクサンドラ・クルザック&ロベルト・
アラニーヤリサイタル 5月15日
opernhaus.ch

トーンハレ

5月7日 室内楽コンサート レイ・チェン他
Made in Berlin 5月10、11日 フィリップ・
ヘレヴェッヘ(指揮)、イザベル・ファウ
スト(ヴァイオリン) 5月22日 ジェネバ・カ
ネー=メイソン ピアノリサイタル 5月27~
29日 国際オルガンデー
tonhalle-orchester.ch

こちらのQRコードをお読み取
りいただき、当会のHP「最新
ニュース」の「お出かけ情報」
をご参照ください。



japanswiss.ch

「作曲家、細川俊夫を囲んで」

3月企画

チューリッヒ・トーンハレシリー
ズ“Literatur und Musik”の一環
として、3月26日日本を代表す
る作曲家、細川俊夫氏の室内楽作品が特集さ
れました。演奏会後にはJCZのご厚意で細川
氏を囲む懇談会が催され、作品に関してや日
欧での音楽受容の違いなどについて興味深い
お話を聞くことができました。取り上げられ
たのは全て何かしら日本と関係のあるタイト
ルの作品でしたが、音楽自体は日本民謡に基
づいたものから前衛的な作品まで幅広いスペ
クトルを示していました。アルトフルートの作
品では尺八音楽を連想した聞き手が多かった
のですが、細川氏はこの作品は決して尺八の
音色を踏襲したものではないと解説されまし
た。また、打楽器作品ではスイス人の奏者が
声で合の手を入れるタイミングが謡曲を思わ
せる絶妙なもので、さぞかし練習を積まれた
のでしょうねと伺ったところ、微笑されて、
ご自身は全くリハーサルに立ち会っていない
とお答えでした。私の知る限り、氏の楽譜
は複雑な楽曲でも五線譜に学校で習うような
標準的な記号だけを用いて書かれているので
すが、氏のお答えからは「非ヨーロッパ的な
ニュアンスの音楽も十分に五線譜で表現でき
る」という強い自信を感じたのでした。6月
にはルツェルンで、先日ベルリンフィルで初
演された氏のヴァイオリン協奏曲が上演され
るそうです。(石川尚)

パイプオルガン工房の見学会

3月企画

3月のJCZ会のイベント企画であったパイプ
オルガン工房の見学会に参加しました。
Orgelbau(オルガン工房) Kuhnはチューリッ
ヒ湖のゲマインデMännedorf(メンネドルフ)にあり、湖
からも駅からもすぐという立地の良い所にありまし
た。ドイツからこの村の教会のオルガン製作の仕事に
来た職人であったKuhn氏が、その環境の良さに「いい
ところだし、仕事もありそうだから」と言って住み着
いて新しく工房を開いたのが199年前の1864年。以
来、スイスのみならず世界のパイプオルガンを作
り、そのメンテナンスをしているそうです。日本
では東京のオペラシティやミュンヘン、川崎シン
フォニーホールなど、一番最近では新しくなっ
たチューリッヒのTonhalleのオルガン製作を行っ
たそうです。(KC)

サッカーグラスホッパークラブ・チューリッヒ対FCルガーノ観戦

4月企画

4月2日 サッカー グラスホッパークラブ・
チューリッヒ対FCルガーノの観戦イベントに
参加させて頂きました。選手を間近で感じら
れる席で観戦でき、大変興奮しました。試合内容も素晴
らしく、一点を先制されながら前半のうちにスーパーゴール
で追いついたのです。後半には逆転弾を叩き込み、強固な
守備で最後まで耐えて無事勝利できました。逆転勝利と言
えばカタールW杯の日本対ドイツ、スペインが私のイメ
ジにあり、あの時と同じように結構興奮しました(笑)。
スタメンで出場した瀬古歩夢選手は3月の日本代表戦も
出場しており、2026年のW杯は主力で出場すると個人
的に思っております。日本から遠いスイスで、同志と日
本人のサッカー選手を応援できる喜びを噛み締め、私
の本業であるチェロも頑張ります。このような素晴
らしい企画を用意して頂きありがとうございました。(吉田 啓
晃)

JCZ Events

イベント参加レポート



阪野 真司さん (ベルン在住)

お仕事は？

チューリッヒ日本人会の皆様、こんにちは。在スイス日本国大使館の領事をしております阪野真司（さかの しんじ）と申します。2月に当地に着任し、約2か月が経過しました。同伴家族は妻と12歳になる娘です。家族で楽しくスイス生活に慣れつつあります。

スイスに来るまでの話

最初に外務省に就職してから今まで、転職せずに同じ組織で勤務しています。外務省に入ろうとしたきっかけは、海外で仕事をしたいということが最大の目的でした。また、海外のスポーツ、とりわけサッカーが好きでしたので、本場のサッカー観戦が直にできるかなと思っていました。

また、領事の仕事は、簡単に説明しますと日本人の方に対する旅券の発給、戸籍・国籍書類の受理、証明書の発給、外国人の方に対する査証の発給等です。言ってみれば、日本国内の市区町村の仕事を代行している部分も多くあります。日々窓口業務に対応しており、在留邦人の皆様等と接する機会も多くあります。

外務省に入りまして最初の在勤地が米国・ワシントンDC、その後本省勤務、次は香港、パキスタン・カラチ、その後帰国し本省勤務、それからブラジル・ベレン、マレーシア・ペナン、そして前任

地のモンゴル・ウランバートルと移り、現在の在勤地が在スイス大使館となります。米国、モンゴル、スイスは大使館でその他は総領事館等です。在外勤務は現在のところ約20年くらいです。

ご出身は？

出身は東京都中野区野方で東京の中でも武蔵野の雰囲気があり、更に下町情緒のある街ですが、ここ数十年離れてしまっており、最近訪問していないので現在の状況はわかりません。



趣味、今ハマっていること

音楽鑑賞でジャンルは問いません。家にいてくつろいでいる時に聞いたり、寝る前に静かな曲を流すのが好きです。また、カラオケも好きで、歌うのも他の方が歌っているのを聞くのも好きです。

スイス生活は如何ですか？

スイスは私にとって初めての欧州勤務の土地で、長い間欧州勤務をしたいと願っていましたので、ここに来てスイスに勤務できたことはとても幸運だと思いました。父親が時計職人でしたので、昔から

スイスに一度は行ってみたいと思っていましたため、今回の勤務は世代を超えたご縁を感じます。

信条としていることはありますか？

目立つような行動はせず、一点を照らす小さな光のような存在であり続けるということでしょうか。

会員の方へのメッセージ

最後に在留日本人の方々の支援等を行うのは、在外公館である大使館の重要な仕事と考えております。今後皆様と関わらせていただくことが多々あることかと思えます。また、いたらぬ点多いと思えますが何とぞどうぞよろしくお願いいたします。



在スイス日本国大使館
一等書記官兼領事
阪野 真司(了)
Engestrassse 53,
3012 Bern
041 31 300 22 22

大使館関連のお知らせ

5月8日（月）以降、現行の新型コロナウイルス感染症に係る水際措置（「出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明」又は「ワクチンの接種証明書（3回）」の提出）が終了となる予定です。一方で、同日から、発熱・咳などの症状がある渡航者に対して、主要5空港（成田・羽田・中部・関西・福岡）において、任意でゲノム解析が実施されます（感染症ゲノムサーベイランス（仮称））。詳細はこちらのQRコードからお読み取りください。



編集後記

2023年も、早いもので3分の1が過ぎました。日本もようやくCovid-19に関する水際対策が解除され、とりあえずパンデミックは終わったように見えます。それでも、ウクライナ侵攻を始め世界状況は不安定なままで、一人一人が意識を高めて間違えた方向に進まないように目を光らせている必要がある時代です。そんな時代にスイスで巡り合うことができたJCZ会員の皆様に、少しでも「日本の温もり」をお届けしたいと、毎月みんなで心を込めてEDELWEISSを作っています。多岐にわたる専門の執筆者や多くの寄稿者に支えられて毎月発行できている事に、改めて感謝申し上げます。そしてこれからもどんどん発展していけるよう、皆様からのご意見や投稿、お手伝いが集まって来たら嬉しいな～と思います。お気軽に右のアドレスにメールを下さい！（SN）

広告掲載のご案内

ジャパンクラブチューリッヒでは、会員の方からのお知らせ・広告掲載、フライヤー等の会報同封配送を、有料（一部無料）で随時受け付けております。詳細については編集部までお気軽にお問い合わせください。

伝言板コーナーをご利用ください。

200文字以内のお知らせ・ご案内は無料で掲載いたします。掲載内容責任者のお名前（会員に限る）を入れた原稿を毎月10日までに編集部までメールにてお送りください。

*JCZでは広告・フライヤー・伝言板の記載情報については責任を負いかねます。

JCZ会報誌エーデルワイス
2023年5月号
発行責任者：青砥 玄(会長)
編集：中東生、阿部 牧子
レイアウト：鎌田 裕子 市居 美帆



※編集部専用メールアドレス※
edelweiss@japanwiss.ch

JCZ Japan Club Zurich
Office of Honorary Consul
General of Japan
Utoquai 55, 8008 ZH
jcz@japanwiss.ch
www.japanwiss.ch

